

平成29年度 第1回櫛引地域振興懇談会 (会議録・概要)

○日 時：平成29年7月21日(金) 午後3時00分から午後4時55分まで

○会 場：櫛引庁舎 第1会議室

○出席者：敬称略

(出席委員) 成田 勇、木村英俊、菅原勝、小林良市、遠藤 勉、佐藤正幸、
清和ふみ子、釧持澄子、鈴木光秀

(欠席委員) 武田啓之、藪田 透、上野由部、佐藤治郎作、重松美鈴、小林範正

(市側) 櫛引庁舎支所長 小田仁、企画部地域振興課長 佐藤光治

総務企画課長 佐藤浩、市民福祉課長 天然せつ、産業建設課長 宮崎哲

総務企画課総務地域振興専門員 富樫延弘、総務企画課専門員 鈴木直司

一次 第一

[委嘱状交付]

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 委員・職員紹介 (自己紹介)
- 4 会長・副会長の選出
- 5 協 議
 - (1) 次期総合計画の策定に向けた意見交換について
 - (2) その他
- 6 そ の 他
- 7 閉 会
- ・・・・・・・・・・・・・・・・

総務企画課長

本日は、お忙しいところご参集いただきありがとうございます。

開会に先立ちまして、委嘱状の交付を行います。大変恐縮ではございますが、代表交付ということにさせていただきます。櫛引区長会の会長であります成田勇さんから、代表して受領をお願いしたいと思います。なお、委嘱状は櫛引庁舎支所長より交付いたします。

— 委嘱状交付 —

総務企画課長

ありがとうございました。他の委員の皆さんには、大変恐縮ではありますが、席の上に委嘱状を配らせていただいております。任期は平成31年3月31日までとなりますのでよろしくお願いいたします。

1. 開会 総務企画課長

それでは、ただ今から平成29年度第1回櫛引地域振興懇談会を開会いたします。

初めに櫛引庁舎小田支所長よりごあいさつ申し上げます。

2. あいさつ

櫛引庁舎支所長

本日は、大変お忙しいところ、第1回櫛引地域振興懇談会にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

また、皆様方には、日頃から、本市の地域振興に格別のご尽力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

「地域振興懇談会」は、平成17年の市町村合併の際、旧市町村ごとに「地域審議会」が設置され、平成26年度まで各地域で開催されてきましたが、引き続き市民の皆様からご意見をいただくことが重要であるということから、平成27年度から「地域審議会」に代わって設置されたものであります。任期2年としておりますので、今年度から平成30年度までが第2期目となります。

前回に引き続き再任される方と、今年度、新たにお問い合わせの方を含め、15名の方々に委員を委嘱しております。今後の地域振興に係る取り組みの方向性や、より良い振興策・活性化策について、幅広い視点からご意見を頂戴したいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひします。

さて、本市では、平成20年度に策定した「鶴岡市総合計画」に基づき、合併後の新たなまちづくりを進めてまいりましたが、計画期間が来年度までとなっていることから、今年度から次期総合計画の策定に向けた作業を始めております。前回の策定の際は、各地域の地域振興ビジョンや地域振興計画を策定し、その上で「鶴岡市総合計画」に反映させる、あるいは整合性を持たせるというスタイルを進めて参りましたが、今回につきましては、この「地域振興懇談会」等を通して、市民の皆様からいただいた意見を、直接、総合計画に反映させていけるような形で進めていきたいと考えているところです。

現代の目まぐるしく変わる情報社会に対応し、いち早く時代に即した施策を展開していくためには、できるだけスピーデ化に策定する必要があることと、今、本市は食文化や様々な観光資源などで、国内外から大変注目を集めており、地域の特色を生かした取り組みをオール鶴岡の取り組みとして考えていくことが、大変重要と考えております。

また、櫛引庁舎では、「フルーツの里づくり」「グリーン・ツーリズムと観光の推進」「歴史・文化の里整備」の3つを基本方針に掲げ、具体的な取り組みを実施してまいりましたが、これら櫛引地域の振興方策につきましても、今回の総合計画の策定に合わせて、皆様と意見交換を行いながら、より効果的に展開できるよう、見直しをして参りたいと考えております。

本日は、議題を「次期総合計画の策定に向けた意見交換」としてありますが、第一回目でもありますので、あまり堅苦しく考えずに、皆様が普段お考えになっていることなどを忌憚なくご発言いただき、有意義な意見交換にしたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

3. 委員・職員紹介（自己紹介）

4. 会長・副会長の選出

総務企画課長

では、会長、副会長の選出ということで進めたいと思います。皆さんにお配りしました設置要綱の第5条によりますと、会長1名、副会長1名を委員の互選で選出するという事になっております。選出の方法についてですが、皆様いかがいたしましょうか。

（「事務局案はありませんか」という声あり）

それでは、事務局案ということでありましたので、私どもから提案させていただきますのは、前期に引き続き、会長を区長会会長の成田勇さん、副会長を婦人会会長の清和ふみ子さんをお願いしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」という声あり）

皆さんから異議なしとご発言がありましたので、そのように決定させていただきたいと思っております。

5. 協議

（1）次期総合計画の策定に向けた意見交換について

総務企画課長

設置要綱に基づきまして、会長から座長を務めていただきたいと思いますのでよろしくお願ひします。

会長

次期総合計画の策定が行われるということですので、本日は全市の政策や櫛引地域の振興方策について、普段お考えになっていることなどを発言していただき活発な意見交換にさせていただきたいと思ひます。今回から新たに委員になられた方もおりますので、櫛引庁舎の重点施策について説明をいただいた後で意見交換に入りたいと思ひます。それでは資料の説明をお願いします。

説明（支所長～総務企画課長～市民福祉課長～産業建設課長）

会長

今、説明がありましたが皆さんから質問などありますか。みなさんは櫛引地域の実態など肌で感じていると思ひますので、忌憚のない質問や意見などお願ひしたいと思ひます。

A委員

櫛引地域に関する基本的なデータが不足していると感じます。例えば、観光果樹園の入込者数の推移がどうなっていて将来の目標数値と比較して現状はどうかかなど。データを基にした分析がほとんど出来なくて、文言のみでは具体的な実情が見えて来ません。具体的などころまで落とし込まないと議論が深まっていかないのではと感じます。

また、鶴岡市全体の重点施策と地域の施策とのつながりが見えてこないと感じています。日本遺産や食文化創造都市、食と農の景勝地の認定など、そういう大きな動きと櫛引の施策との関連性です。鶴岡市が全国から注目されていますが、櫛引地域が置いて行かれないように情報を提供して鶴岡市全体の計画にも必ず書き込まれるようにしなくてはならないと思ひます。

会長

櫛引地域の施策の基本方針の1つに「グリーン・ツーリズムと観光の推進」があるが、B委員は農家民宿を営んでいる立場から何かご意見などありませんか。

B委員

黒川能の鑑賞に訪れた方などの宿泊の受け入れを行っていますが、今のところ農業体験を組み入れた体験メニューの提供は出来ていない状況です。

また、農家民宿で提供する料理の実習にも取り組んでいますが、確保しやすい食材を活用するなど提供しやすさにも考慮したレシピづくりが大切だと感じています。

会長

今年は農作物が不足したと聞きましたが、C委員、どうでしたか。

C委員

さくらんぼは6月の長雨と強風による実割れが発生し、観光客の受け入れを打ち切った果樹園もあり、観光果樹園の案内所としては大変苦労しました。

会長

支所長の説明にもありましたが櫛引の基幹産業は農業であります。庄内たがわ農協の理事でありますD委員は何かありませんか。

D委員

庄内たがわ農協には5つの支所があります。合併当初は支所の特色を活かすという方針で取り組んできましたが、現在は、支所ごとにあつた生産部会を1つにまとめるなど、庄内たがわ農協は1つという考え方でやっています。果樹にしても櫛引地域だけでなく羽黒地域でも庄内柿やブルーベリー、さくらんぼの生産が行われておりますし、支所ごとに予算を配分して色分けしてやっていないのが現状です。

果樹の中でも生産者が一番多いのが庄内柿ですが、大玉生産を推進することで、消費地である北海道でも粒ぞろいや甘味の評価を受けるなど、ブランドとして確立しつつあります。

会長

農業振興やグリーン・ツーリズムの推進などにおいて、市と農協とが連携した取り組みを行っていますが、産業建設課長、何か感想などありますか。

産業建設課長

今年のさくらんぼまつりでも感じましたが、櫛引の観光果樹園だけでさくらんぼ狩りの要望に応えるのが難しくなってきたと思います。羽黒地域や朝日地域、温海地域にも観光農園がありますので、他地域との横断的な取り組みも検討する必要があると感じたところです。

会長

その他にありませんか。福祉関係や婚活事業などでも結構です。櫛引地域の人口は年間100人程度減少しています。全市では1年間で1千人減少しています。櫛引地域は婚活発祥の地ですが、櫛引庁舎の婚活事業はどのようになっていますか。

総務企画課長

これまで、櫛引庁舎としても婚活事業には力を入れてきましたが、今年度は休止しています。というのは、民間ベースでもたくさんの事業が行われるようになってきたということもありますので、状況を見直して必要であればまた取り組みましょうという現状であります。これまで2組の成婚のお話がありますが、それがすぐに人口の増加に繋がるかと申しますと、私共もなかなか見えないところもあり、今年度は一旦休止をさせていただいているところです。

委員のみなさまから違う角度で提案などいただければ検討をさせていただきたいと思えます。

会長

ある地区では婚活事業の対象者が50人以上いるが鶴岡市の「世話焼き」にはなかなか登録したがないという話もあります。結婚したいけれど出来ていないという人数は把握していますか。

地域振興課長

市では統計データを活用して未婚者の人数や動向等を分析しております。なお、「世話焼き登録」している方は約300人おりますが、7対3で男性が多い状況です。男女半々になるよう女性の登録を増やしたいと思っております。

結婚対策として、私は2つの方向からアプローチする必要があると考えております。

1つは外的アプローチで、一般的に言われている「200万円の壁」という収入面、経済的な課題への対応であります。この課題に対しましては、企業を含め社会全体で所得水準を押し上げるしかありません。

もう1つは内的アプローチで、今の若者には1人のほうが楽しいという方が増えていきます。これには子供時代の社会体験が影響しているということが若者調査から判ってきました。社会体験が少なかった人ほど1人のほうが楽だと考えるそうです。これを変えるには、教育と一緒に取り組んで行く必要があります。

結婚対策は、非常に難しい取組でありまして、役所の限界、地域の限界もあります。まずは引き合わせやすくするため、女性の世話焼き登録者を増やすことに力を入れていきたいと思えます。

最近、本市のボランティアによる世話焼き活動の仕組みについて、視察に来る市町村が増えております。この3年間の取組によりまして6組のみなさんが成婚されております。婚活発祥の地である櫛引地域の取り組みを参考にしながら全市に事業を展開しているところでもあります。

A委員

女性の登録者数が少ないということですが、女性の絶対数が少ないということですか。

地域振興課長

人口の男女比はほぼ均衡しております。統計をみますと、女性は30歳～34歳の間に結婚する人が多くっており、約75パーセントの女性は34歳までに結婚している状況です。一方、男性は女性よりも晩婚傾向にあるため、結婚適齢期の年代では未婚男性の方が多い状況となっております。

会長

女性の登録者数が少ないということですが、窓口が市役所の5階にあり登録しやすい環境とは言えないと思います。例えば、銀座通りの空き店舗などに事務所を設置するなどして登録しやすい環境にしないと増えないと思います。

地域振興課長

他人の目を気にせず、買い物のついでに登録できるような形が一番良いと思いますが、スーパー等民間施設のスペース借用の可能性も含めて、登録しやすい環境づくりについて検討してまいりたいと思います。

櫛引庁舎支所長

婚活支援ネットワークへの登録は女性からすると少し抵抗があると思います。余り婚活を全面に出すのではなく、趣味を通して出会う場づくりとか、少し色を変えていくと女性も参加しやすくなるのではないかと思います。

もう一つ、人口減少対策についてですが、高校卒業後に県外や市外へ転出するとなかなか地元に戻って来ないという状況にあります。若者から地元の企業などで働きたいと思われるような環境にしていく必要があります。あるいは、収入は少ないが自然は豊かでおいしいものが多くあるのでここで暮らしたいと思ってもらえるように、鶴岡で生活することの魅力を知周知するなど、地元にも少しでも多くの若者から残ってもらう、あるいは一旦転出して戻ってくる、そういった環境を時間をかけて作っていかないと人口減少対策にはつながらないと考えております。

会長

進学のため実家を離れている女性を呼び戻すために、卒業が近くなったら実家を通して鶴岡にこういう仕事があるんだよという周知を行うことも考えられます。企業などからダイレクトメールが届くよりも鶴岡市からの案内の方が信頼感が大きいと思います。

櫛引庁舎支所長

首都圏で「job カフェ」を開催するなど、UIターンを促進する事業を始めていますし、高校生を持つ親御さん向けの企業ツアーも始めています。櫛引地域には「高校生を持つ親の会」という団体がありますので、そういう会を通じて企業情報や鶴岡市の良さをPRするなど、地元にいる間に高校生に教えていくことも重要だと考えています。

会長

専門学校等で資格を習得しても、活用できる職場がないと戻って来ないと思います。資格を活かせる企業の実態を把握して情報提供する必要があると思います。

時間も1時間30分を経過しましたので、最後に、市の政策や櫛引地域の振興方策などに対しまして、1人ずつご発言をいただきたいと思います。

E委員

空き家対策としまして、都会の人に空き家の情報を提供しながら移住を促進して欲しいと思います。

D委員

今は相撲がブームでありますので、柏戸記念館に隣接するゆ〜town で鏡山部屋ゆかりのちゃんこ鍋を提供するなどして集客を図って欲しいと思います。

総合計画実施計画に羽越新幹線の早期実現を目指すとありますが、実現した場合、現在の羽越線が維持していけるのかどうか、新幹線の停車駅が庄内に1つとなった場合、果たして、新幹線の誘致が適切なのかどうか、その辺りのことをしっかり考えていただいた上で計画づくりを進めていただきたいと思います。

A委員

まちづくりの究極の目標は、ここに住む人々が物も心も共に豊かになること、住んで良かったなと生きがいを感じて日々暮らしていけることだと思います。

心の豊かさは個人の感じ方であるので、普通に努力すれば一定水準の所得は確保できる社会をつくりたいと思いますし、それを総合計画の中に散りばめてもらいたいと思います。

F委員

インターネットで検索して観光に訪れる人が多くなっています。櫛引地域の観光施設は、インターネットの紹介サイトをもっと活用したほうが良いと感じています。婚活もインターネットを上手く利用することが重要だと思います。

G委員

高齢者の交通事故が多いため運転免許証の返納を推進していますが、免許証を返納した場合でも買い物など生活に支障がないように、公共交通の確保について考えていただきたいと思います。

C委員

西荒屋地区に角田川が流れていますが、集中豪雨により水位が上昇してもう少しで溢れそうなきが数回ありました。どれ位の降水があったら危険だというような防災マニュアルをきちんと作っていただいて、自治会との連携体制を構築していただきたいと思います。

もう1点は二次交通についてです。私の家でも観光果樹園をやっていますが、一番多いのは首都圏から飛行機で来て日帰りする観光客です。例えば、さくらんぼ狩りの後に農家民宿で昼食をとり、柏戸記念館を見学してからゆ〜town で入浴し、加茂水族館に行くなどのモデルコースを作って、それに対する交通を確保する必要があると思います。今は空港から果樹園までバスを乗り継いでくると半日程度かかりますし、帰りもバスの本数が少ないため待ち時間が出てしまうので、農家が駅まで送ってあげるなどの対応をしているのが現状です。

ただし、そういうちょっとした思いやりが評価されてSNSにアップされたりします。思いやりはこの地域住民の魅力ですので、もっとPRした方が良いと思います。

H委員

団塊世代が後期高齢者になると、認知症になる方がかなり増加する心配があります。市や櫛引地域でも研修会などをやっていますが、地区に出向いて研修会等をしていただき認知症への理解を深める機会を増やしていただきたいと思います。

I 委員

先日、婦人会で地域の歴史文化を改めて知ろうという目的で丸岡城跡と黒川能の里を見学しました。丸岡城跡はきれいに整備されていましたが、一方で、同じ観光地でありながら黒川能の里の方はもう少し周辺をきれいに整備できないものかと感じました。

会長

みなさんから感想を含めてご発言をいただきましたが、お話しいただいた内容について櫛引庁舎から何かありましたらお願いします。

櫛引庁舎支所長

ご意見をいただきありがとうございます。本市は農林水産省の「食と農の景勝地」にも認定され、海外にもアピールして観光客を呼び込もうという動きが進んでいます。それが広がるとより多くの観光客が入ってくると思われませんが、そうなったときに観光果樹園や農家民宿が対応できるかという課題がありますので、皆さんからも認識をしていただきたいと思います。

会長

公共交通の話もありましたが、地域振興課から何かありますか。

地域振興課長

高齢者の運転免許証の返納に対する公共交通の対策もそうですし、人口減少問題、結婚対策、過疎対策など、全て地域振興に密着する問題でありますので、地域庁舎と連携しながら、次回、具体的な対策等について皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

会長

以上で懇談会の協議を終了します。

6. その他

なし

7. 閉会 総務企画課長